

研究実施のお知らせ

2023年7月12日 ver.1.1

研究課題名

小児悪性疾患児における体外型カフ付き中心静脈カテーテルの留置手技と合併症に関する研究

研究の対象となる方

2015年1月から2022年12月の間に島根大学医学部附属病院で、白血病などの血液疾患、または固形腫瘍と診断され、治療のために中心静脈カテーテルを留置された、20歳未満の方

研究の目的・意義

中心静脈カテーテルのトラブルにより、血液疾患や固形腫瘍の治療が中断されることが少しでも減るよう、留置手技と、その後起こる中心静脈カテーテルの合併症との関連を検討します。

研究の方法

2015年1月から2022年12月の間に、血液疾患または固形腫瘍と診断され、当科で中心静脈カテーテルを留置、抜去された方について、診療記録（カルテ）から以下のデータを収集します。

- 1) 中心静脈カテーテルを留置された時の年齢
- 2) 病名
- 3) 血液検査上の白血球数および好中球数
- 4) 過去に中心静脈カテーテルを留置された回数
- 5) ヒックマンカテーテルか、プロビアックカテーテルか
- 6) 直接血管を出すカットダウン法か、超音波検査で血管を見ながら針を刺す穿刺法か
- 7) どの血管にカテーテルをいれたか
- 8) X線写真で確認したカテーテル先端の位置
- 9) カテーテル出口部の位置
- 10) 同時に行った手術の内容
- 11) 手術時間
- 12) 中心静脈カテーテルを留置してから合併症が確認されるまでの日数
- 13) 中心静脈カテーテルの抜去理由

14) 中心静脈カテーテルを留置してから抜去するまでの日数

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた方への謝礼等もありません。

使用するデータは、個人を識別できない状態にして、個人情報に関しては厳重に管理します。

観察研究の成果は、科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

この観察研究は島根大学医学部医学研究倫理委員会で審査され、医学部長の許可を受けて行われます。

研究の期間

2023年8月23日～2024年12月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部消化器・総合外科学講座 真子 絢子

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2024年2月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部消化器・総合外科学講座 真子 絢子

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2232 FAX 0853-20-2229